



わたしの一冊・わたしの一本

多摩川百科 こども博物誌 動物のくらし

高槻成紀 編 玉川大学出版部 / 2016.5 発行

すい しゃ あざぶだいがく はくぶつかん めいよがくげいいん たかつきせいき 推せん者 麻布大学いのちの博物館 名誉学芸員 高槻成紀 先生			
おすすめ	おためし	お気に入り	対象：小学生
春山先生が担当した さがまちカレッジ	動物の頭の骨を観察してみよう (2016年7月、2017年11月、2018年11月)		

これまで私わたしはさがまちカレッジで「動物の頭どうぶつ あたまの骨ほねを観察かんさつしてみよう」という教室きょうしつでお話をしました。それは博物館はくぶつかんにあるシカやタヌキなどの動物どうぶつの本物ほんものの頭の骨ほねをよくくらべることで、そのちがいを学まなんでもらうためのものでした。参加した子どもたちはとても熱心ねっしんにスケッチをしていました。たとえばシカは草を食べるために上たが平たいらになっはた歯はをもっれつていてその歯はの列れつは長いものでした。これにくらべるとタヌキはくだものや動物も食べるので、歯ははするどくとがっていました。動物の頭の骨を観察することはその動物のくらしを知ることです。その意味いみで「動物のくらし」という本をおすすめします。この本は哺乳類ほにゅうるいだけでなく、鳥やヘビ、カエル、魚なども紹介しょうかいし、それぞれの動物がどういうくらしをしているかをすばらしいイラストでえがいています。そして動物の食べもの、くらす場所ばしょ、子育てそだなどが学まなべるくふうがしてあります。夏休みなどにじっくり読んでみてください。

- おすすめ：先生が担当した講座こうざに関する勉強ができる作品
- おためし：新しいことを勉強する良いきっかけになる作品
- お気に入り：先生の好きなことに関する作品や、先生の心に残る作品